１．科目名（単位数）	教職実践演習（小学校）　　(2 単位)	３．科目番号	EDTE4391
２．授業担当教員	加藤　敏明		
４．授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する	５．開講学期	秋期
６．履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、 履修カルテを使用した授業を実施することから、 履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
７．講義概要	教職実践演習（小学校）は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを期待して実施される科目である。		
８．学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ①　職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ②　社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③　実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方等に関する事項の再確認をする。 ④　教科・領域等教育課程の実施に当たっての指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
９．アサイメント（宿題）及びレポート課題	課題１：学級経営案を作成し提出する。 課題２：学級の中に、障害（ＬＤ，ＡＤＨＤ，身体障害者等）のある児童がいた場合の対応について、１つ例を挙げて自分の考えを１，０００字以内で記述せよ。 課題３：保護者が、自分の子どもがクラスでいじめられていると訴えてきたときの対応について、自分の考えを１，０００字以内で記述せよ。 課題４：学級通信を作成する。		
10．教科書・参考書・教材	【教科書】片山紀子編著・富永直也著『学校がみえる教職論』大学教育出版、2012 年 【参考書】『小学校学習指導要領解説　総則編』2０1８年。 梨木昭平著『教職実践演習　ロールプレイ・ロールレタリング対応』大学教育出版、2013 年。 梨木昭平著『最新教職概論　生徒指導論　教職実践演習対応』大学教育出版、2015 年。		
11．成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ◯評定の方法 日々の授業態度、参加度　３０％ レポート課題　４０％ 日常の学習状況　３０％		
12．受講生へのメッセージ	○受講生に期待すること １．授業中は真剣に取り組み、分からないところは質問すること。 ２．授業中は、他人に迷惑をかけないよう、私語・携帯電話・居眠り・飲食を禁止する。 ３．予習・復習をしっかり行い、学習内容を確実に習得すること。 ４．レポートや副教材のプリント等は各自整理整頓に努め、学習内容の大切な資料として活用すること。 ５．欠席・遅刻・早退をしないこと。欠席・遅刻・早退をするときは理由を書面にて提出すること。		
13．オフィスアワー	第１回目の時に知らせる。		

14．授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	シラバスの説明、班編制、授業の受け方。 教育実習や指導法の授業を受けてきて、教師になったときの不安について発表する。	事前学習	教師になったときの不安について自分の考えを持っておく。
		事後学習	新学習指導要領解説総則編を読んでおく。
第２回	新学期を迎え、クラスの座席・係・当番等の決定について留意することを学習する。 課題１：学級経営案の見本を見て作成する。	事前学習	座席・係・当番等どのように決めるか自分の考えを持っておく。
		事後学習	教室環境を考えた学級経営案を考えておく。
第３回	学級経営案の書き方を学習する。 学級経営案の提出。(各自の経営案をグループで討論し、発表する)	事前学習	各自の学級経営案を作成する。
		事後学習	授業後に、学級経営案を修正しておく。
第４回	組織の一員としての報告・連絡・相談の在り方について、事例を通して学習する。	事前学習	保護者との対応について自分の考えを持っておく。
		事後学習	報告・連絡・相談の在り方をまとめておく。
第５回	家庭訪問・保護者会の持ち方について学習する。 担任としての学校経営方針について、グループで討論し発表する。 課題２：クラスに障害者がいるときの対応について、１つ事例を挙げて 1,000 字以内にまとめる。	事前学習	家庭訪問や保護者会の持ち方を考えておく。
		事後学習	課題２のレポートの事例を考えておく。
第６回	クラスに障害者がいるときの対応について学習する。 提出されたレポートの事例ごとにグループを作り、討論し発表する。(事例研究)	事前学習	自分の考えた事例のレポートを作成する。
		事後学習	レポートを修正しておく。
第７回	事例研究（わがままで教師の言うことを聞かない児童の対応）を通して、グループで討論し発表をする。	事前学習	個々の児童の対応について考えておく。
		事後学習	個に応じた指導の在り方をまとめておく。
第８回	事例研究（不登校児童に対する対応）を通して、グループ	事前学習	教師や専門家との連携を考えておく。

	で討論し発表をする。	事後学習	児童の実態や保護者の願いもまとめておく。
第９回	対面授業ができるときロールプレイ（いじめへの対応）を通して、グループで討論し発表をする。Zoom のときは個々の考えを発表する。	事前学習	組織人としての対応を考えておく。
		事後学習	各自、いじめの対応をまとめておく。
第１０回	対面授業ができるときロールプレイ（いじめられている子の保護者の訴えに対する対応）を通して、グループで討論し発表する Zoom のときは個々の考えを発表する。 課題３：保護者が、子どもがいじめられていると訴えてきたときの対応について、1,000 字以内に自分の考えをまとめる。	事前学習	いじめられている子の保護者への対応をまとめておく。
		事後学習	課題３のレポートについて、自分の考えをまとめておく。
第１１回	個に応じた指導のあり方について、事例ごとにグループで討論し発表する。 課題３を提出する。	事前学習	課題３のレポートを作る。
		事後学習	組織としての取り組みを考える。
第１２回	子どもの力を引き出す手立てと児童理解を学習する。 （学級活動の事例を通してグループで討論し発表する）	事前学習	まとまりのある学級作りを考えておく。
		事後学習	色々な事例を考えておく。
第１３回	指導力を高める教材研究の仕方について学習する。 （児童の実態把握と個に応じた指導の在り方について、討論し発表する）	事前学習	児童の実態把握の仕方を考えておく。
		事後学習	学習の遅れている児童の対応について考えておく。
第１４回	学年会・職員会議・校務分掌での組織人としての協力について討論し発表する。 課題４：学級通信を作成する。	事前学習	校務分掌での提案の仕方を考えておく。
		事後学習	会議での提案の仕方をまとめておくとともに、学級通信の内容を考えておく。
第１５回	教師に求められる資質について、討論し発表する。 自己の教育指導の考え方について討論し発表する。 課題４を提出する。	事前学習	教師の資質について考えてくるとともに、学級通信を作成する。
		事後学習	各自で目指す教師像を考えておく。